

1st  
2011 春

11111



Front Face

**Kimura Kazuhiro**

木村和弘

「夜空」  
油彩・キャンバス  
1820×455mm (部分)



### 木村和弘 *Kimura Kazubiro*

1974年埼玉県出身。2008年/木村和弘・政尾翼 2人展 (弘重ギャラリー)。09年/木村和弘・島谷美紗子 2人展 (ギャラリー遊)、雨の時展 (企画展・Gallery Introart)、所沢航空公園美術展 (所沢文化センターミュージス)。10年/ユニグラバス小品展 (ギャラリーユニグラバス銀座)、てれどろ地球展 (世田谷美術館 区民ギャラリーB)、スモール・ピース (グループ展・吉祥寺シアターカフェ)、てれどろ展 (グループ展・ギャラリー健)

### Information

#### 木村和弘 個展

4/4 [月] → 10 [日]

ギャラリーユニグラバス銀座館

<http://www.uniglavas.com/>

©ライブペイント 4/9 [土] 14:00より  
当日の 16:00よりパーティーを行います。

「木漏れ日」  
油彩・キャンバス  
1820×455mm

彫刻家

山崎りょう Yamazaki Ryo

◎特集インタビュー

# 夢の共有

アーティスト同士の結婚

# 大竹恵子

Orake Keiko

色鉛筆画家・イラストレーター

い つの時代も、変わり者、頑固者、社会生活不適合者などと思われがちなアーティスト。そのアーティスト同士が付き合うことは出来ても、実際結婚するとどうなるの？ 成り立つの？ 経済面の不安定、価値観の相違、家庭内の役割など。

今回、神奈川在住のアーティスト御夫婦にインタビューしました。

旦那様の山崎りょうさんは彫刻家、奥様の恵子さんは色鉛筆画家・イラストレーター。結婚5年目のアーティストカップルです。

普段の生活で家事の分担などは？

山崎りょう（以下りょう） 普段の家事の分担はほぼ俺がけいちゃんにおんぶにだっこなんですよ（笑）。

大竹恵子（以下けいこ） りょうくんはしないね。家事はね。

—— 結構しそうなイメージがありますが、掃除とか。

りょう ぜんぜんしない（笑）。俺、掃除しない王選手権あったら出たいかなと。だからくしゃくしゃになつてんのアトリエが（笑）。

それだね。家事の分担は、もうすつとそれで行こうねと決めているわけではない。たまたま今ね、収入的に俺がコンスタントにお金を持ってきてけいちゃんは基本、家について、絵も年間に何十枚とか売って収入はあるんだけど、それだと生活自体が成り立たなくて、大まかな部分というのは俺が責任を持つ



山崎りょうさんの作品はどこかユーモラスで親しみやすい。そのあたたかい作風は情熱あふれる山崎さんの人柄そのもの。

右:「umagun」、上:ユーモラスな作品は子どもたちにも人気。汐留クリエイターズコンペティションにて、下:「きゅうり01」。



地元福島の景色を中心に描く大竹恵子さん。自然の中で暮らす子どもたちが、色鉛筆で丹念に愛情豊かに描かれている。左ページ右から「大志子安観音堂・紫陽花の頃」、「桜」



りょう これね、ほんと美意識というの  
はみんなそうだと思うけど共通してない。  
人それぞれだと思っただよ。やっぱり見て  
きたものも、環境も違うし、美しい花とか  
夕焼けがきれいとかは共感できるんだけ

#### 美意識や価値観について

あれ天井低かったっけみたいな(笑)。一  
人暮らしの時全部そうだったから。友達  
入ってくる時もごっこごっこみたいなの。布  
回の上で木彫やっていたし(笑)。木っ端  
とかそのまんま! あーちくちくするけど  
寝れる! みたいな(笑)。髪の毛切る時も  
風呂場でさっていたりしたし。もう全然ダ  
メダメ超ダメ男の子ですよ。男の子らし  
いっちゃらしいけど。

りょう ぜんぜん話し合うよ。お互いの  
こと。ぶつかるっていうよりも、そこで美  
意識の違いが大事になってくる。違う自  
分で話が出る。で、さらに他人じゃないの  
で、なんていうのかな、ゆるせるとい

—— お互いの制作や作品について意見し  
たりしますか?

お互いの作品について

食、光熱費2人で月10万円くらいあれば  
成り立つは成り立つから、ぎりぎり。出か  
ける用事があるときちょっと出ちゃうけど。  
「今日納言食べたけど」「いーよいーよ、ぜ  
んぜんいーんじゃない」みたいな。そこら  
へんはOK。そのかわり材料に関してはわ  
がままを言うっていうか。

りょう 決めてないですね。ただ最低限か  
かる税金とか家のローンもあるし、食べな  
きゃいけない食費もあるし、携帯電話、ガ  
ス、水道、光熱。やっぱり生きるだけのお金  
かかるのでそれは最低限キープしつつ。だ  
から割合という気持ち的に重視している  
のは制作費が基本優先。

—— 生活費、制作費の割合はどのように  
決めてますか?

生活と制作のバランス

ど、アート作品や好みで言ったらぜんぜん  
共通してない。夕焼けきれいというのは価  
値観に入ると思う。

全員 すごそー(大笑)。  
りょう 俺が好きなのしか出さないよ。  
毎日ハンバーグ。今日はハンバーグだよ。  
今日はカレーみたいな。カレーとハンバー  
グすーと続くの(笑)。俺は満足! みたい  
な(笑)。  
ありがたいと思う、本当に。俺はどっち  
かっていうと苦手なほうなんで、一人でい  
たら床自体がとんとんつみ上がってくる。  
あれ天井低かったっけみたいな(笑)。一  
人暮らしの時全部そうだったから。友達  
入ってくる時もごっこごっこみたいなの。布  
回の上で木彫やっていたし(笑)。木っ端  
とかそのまんま! あーちくちくするけど  
寝れる! みたいな(笑)。髪の毛切る時も  
風呂場でさっていたりしたし。もう全然ダ  
メダメ超ダメ男の子ですよ。男の子らし  
いっちゃらしいけど。

—— そうなると料理やらないですかね。

生活と制作のバランス

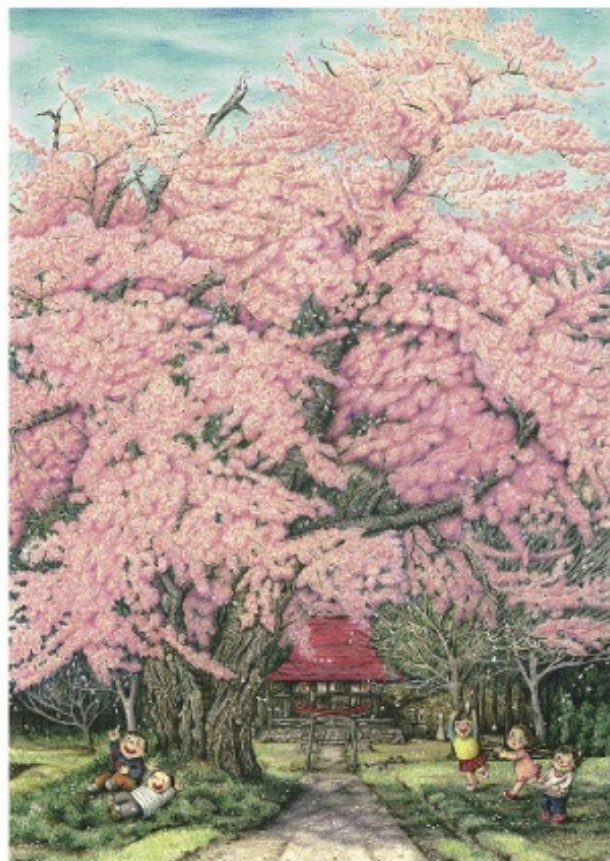
ど、アート作品や好みで言ったらぜんぜん  
共通してない。夕焼けきれいというのは価  
値観に入ると思う。

りょう 決めてないですね。ただ最低限か  
かる税金とか家のローンもあるし、食べな  
きゃいけない食費もあるし、携帯電話、ガ  
ス、水道、光熱。やっぱり生きるだけのお金  
かかるのでそれは最低限キープしつつ。だ  
から割合という気持ち的に重視している  
のは制作費が基本優先。

—— 生活費、制作費の割合はどのように  
決めてますか?

生活と制作のバランス

ど、アート作品や好みで言ったらぜんぜん  
共通してない。夕焼けきれいというのは価  
値観に入ると思う。



かな、もっとすなおにいられるのかな。もちろん他の人の意見も入ってくる方だけど、もう一人の自分が言ってるのに近いというか。違う美意識を持ったもう一人の自分が言ってくれてるみたいなの。だからけっこう積極的に話すよ。

けいこ 言っちゃ悪いかなって言うのではないけれど、そこちょっとあれじゃないって、ただその言ったことを全部真に受けるわけじゃないっていうのを知ってるから、それを聞いてどうするかはりょうくんの判断だから。ヒントになる時もしかしたらあるかもしれない。受け入れなかったら受け入れなかったでぜんぜんいいし。

けいこ 私は頼りにしてる部分があって、絵の中になんか違和感ある？ ない？ とか。

**アーティスト同士の結婚**

—これから結婚を考えているアーティストに一言お願いします。

りょう 結婚して2人だけじゃなくてどっちの家族もあるからその理解っていうのも大事だね。

けいこ りょうくんのうちはアート関係だったから私が絵を描いていることを仕事としてみてくれて、それがすごくありがたくて。

りょう そう。別に結婚したんだからこうだ、みたいな見方は全くしてないよね。



20畳以上はあろうかという広いリビングにはたくさんの2人の作品が並んでいつも見る人に微笑みかけている。

暖かく柔らかい部屋の雰囲気  
に色鉛筆がきちんと並べられ  
たけいこさんのアトリエ(写真  
右)。

それと対照的に、サクサクと  
した男の空気が漂うりょうさ  
んのアトリエには、これまで  
に制作されたの数々の彫刻  
作品と道具が所せましと置か  
れている(写真左)。



けいこ 逆にうちの親がアートのことなんか全然知らないから「お前は結婚したら絵とか描かないでちゃんとお嫁さんやんさやいけなんだぞ」とか。

りょう そう。それで俺なんかと電話でしゃべっても(けいちゃんの)お父ちゃんとお母ちゃんは「恵子はわがまま言ってるねえか」とか「わがまま言ってる絵描いてんじゃねえか」とか。で俺が「いや、ちょっとまってください。けいちゃんの絵はもうちゃんと仕事なんですよ。すごい絵を描いてるんですよ」って説明するっていうか。

お互い恵まれてるっていうか。そういうのもうまくいっている大事な要素の一つになってると思う。

けいこ あとは(両親が)「経済的に苦しくても、2人が仲いいのが一番。だからそれ以上は何も言わない」って。

りょう そう。けいちゃんの両親の考え方も救われていて、「とにかく仲いいことが一番なんだぞ」とか「健康でいることが大事なんだぞ」とかすごい根本的なこと、シンプルなことしかいわないのがすごいありがたいと思うか。自分たちもそれが一番大事だと思ってるから。

—— いやー素敵ですねー。

りょう 経済的にアーティストは安定してない。安定はしてないかもしれないけど、アーティストって夢を持っているじゃない個人個人が。夢の共有が出来て、新しく2人の夢なんかも生まれたりするんだよね。同じ職業だと。そういうところはすばらし

いことだと思うね。

けいこ 夢を持ってんのいいよね、同じ分野でって。相手が夢をかなえたいと思ったらそれも理解出来るし。

りょう アーティストに限らず結婚はね、すごいいいよ。新しい刺激を与えてもらえるよねすごく。日々何か作り出す上でそういうの必要なかもしれないし。価値観、根この部分で共有する所があれば(結婚は)すごくプラスに働く部分が多い。

経済面っていうのも、それは一人でいる時も変わらないじゃない? 生きていく上でお金は必要だから。「いくら貯まったら結婚」とか考えないで。アーティストなんかもうお金貯まんねーし、一人でいても! みたいな(笑)

—— ありがとうございます。

#### ◎取材を終えて

ぐ いくい先にひっぱっていきりょうさんと、それを根元で要所をしっかりと支えているけいこさんの2人の会話がとても印象的でした。

アーティスト同士の結婚はいろいろな不安要素がつきまとう。でも生きていく上で自分にとって何が大事なのか、その大事なものを共に理解し、継続し、確かめあい、高めあい、笑いあっているかが結婚。大切な事を教わりました。

りょうさん、けいこさん、これからも楽しい明るい家庭を築いてってください。

〈1月16日/山崎啓にて〉





「根っこの部分で共有する所があれば  
すごくプラスに働く部分が多い。」(りょう)

「夢を持ってんのいいよね、同じ分野でって。  
相手が夢をかなえたいと思ったらそれも理解出来るし。」  
(けいこ)

**大竹恵子** (おおたけ けいこ)

色鉛筆画家・イラストレーター。本名山崎恵子。福島県大沼郡金山町出身。小次郎イラストスクール卒業。故郷・奥会津の美しい大自然や温かい人々、大切な思い出を色鉛筆で描いています。

<http://heart623-ij-hp.web.infoseek.co.jp/>

**山崎りょう** (やまさき りょう)

彫刻家。神奈川県出身。幼少より祖父である彫刻家、山崎秀雄氏の影響を受ける。祖父と日本各地の仏像彫刻に触れ、彫刻を学ぶ。東京造形大学彫刻学科中退後、東京芸術大学彫刻科卒業。現在神奈川県秦野市のアトリエにて制作活動続ける。

<http://www.k5.dion.ne.jp/~kaku-ryo/>

インタビューの全文をホームページでご覧になれます。  
アクセスはこちらから <https://sites.google.com/site/loop1616/>

# ぼうしとわたし



**帽** 子好きで、ほぼ365日愛用  
しています。かぶるようになって  
たきっかけは、実は私のコン  
プレックスから。小柄な体型に面長の私、  
しかもくせっ毛で雨の日には髪が膨らん  
でとても憂鬱。ところが帽子をかぶって  
みたら意外とバランスが良い！髪のボ

帽子: cloche wool (suits remake)  
撮影: yumi モデル: macky



*cloche wool (suits remake)*



*hat Eco Andaria  
2010*



*cloche Eco Andaria  
2010*



*tweed hunting  
2009*



*ten-gallon Eco Andaria  
2010*



*tote Eco Andaria  
2010*



*tote with fake fur Eco Andaria  
2010*



*basket Eco Andaria  
2010*

リユームも抑えられ日焼け予防もーと私には良いこと尽くしいっそ自分で作れるかも、とチャレンジしたのが帽子制作のきっかけでした。

元々手芸が好きで、その影響は私の叔母から。小学生の頃、一緒に暮らしていた叔母の部屋にあるトルソにはいつも可愛いワンピースや綺麗なドレスがかかっていた。叔母と一緒にもの作りをするのが何よりの楽しみでした。

帽子が似合わない、どんな帽子が似合うのかわからない、とおっしゃる方が多いようですが、服と同じく帽子も本来身体を守るためのもの。機能性にデザインが加わることにより、よりいっそう自分の良さを引き立ててくれるものもあれば、そうでないものもある。チャレンジしたいけど自信がないという方ほど、いろんな帽子をかぶってみてください。ポイントには「かぶる角度」。似合う角度が見つかれば、思いがけない発見があるかも。

yumi

帽子制作「blanc'at」主宰「その人に似合う帽子作り」を「コンセプト」に現在セミナー「オーダーによる帽子やバッグetc.」の制作を展開。愛用の古着の帽子リメイクも。

© yumiさんの素敵な帽子を紹介するホームページ  
<http://blancachapelier.web.fc2.com/>

# 鉄と僕

## 二

〇〇七年の夏に日本に帰国する前には、僕は鉄とは余り縁がなかった。トロントにいた頃は、粘土や木を使った作品を主に制作していた。したがって、僕の周りにも自然とそういう人たちが多かった。でも、鉄とか溶接には漠然と興味があった。それは、たぶん、溶接のあの青白い閃光に惹かれていたのと、昔やっていた仕事の関係で、鉱山とか鋳造工場とかに出入りしていたこともあったからだと思う。

日本に帰国しようと思いついた頃、僕が助手をしていたアーティストの引越があり、その際にトラックを運転していた人が金属系のアーティストだった。その後、彼とは数回会っただけだったが、その出会いが僕に鉄を意識させ始めた。「日本に帰ったら、鉄かな」と。

日本に帰国してから、近所に偶然見つけた仕事は金属加工工場でのものだった。何の疑問もなく、その工場に通い始めた。

鉄は錆る。ある日、工場の外に放置してある鉄

スクラップにオレンジ色と黄色の錆がでていた。アメリカ大陸のような形状だった錆。そのオレンジ色と黄色は砂漠のようだった。曇り空のせいで発色がよく、とても印象的だった。同時に、懐かしく、メランコリーな感覚が、僕の記憶の中に、ふと蘇ってきた。1999年のアメリカ、ピッツバーグの錆。

当時、ダウンタウンの川沿いを車で走っていた。堤防や橋の欄干がデカダントに錆びていて、「ここは衰退した鉄鋼の街なんだ。そして、心も記憶も錆びていく」と、なんだかすごく切なく感じた。これが僕が鉄と出会い、錆をメディアムとして表現することに至ったストーリーの節だ。

この辺で少し、僕の作品とそのコンセプトについて話してみたいと思う。

僕は鉄を錆びさせた作品を作っている。鉄を自然に錆びさせるために数週間、数ヶ月間、雨ざらしにする。毎日、何度も錆びた鉄の状態を見る。その過程は、僕の心と記憶が変化していく様に似ている。この鉄を錆びさせた作品で、「鉄が錆びてい

*Voyage with the Iron*

# 第壹巻 鋼



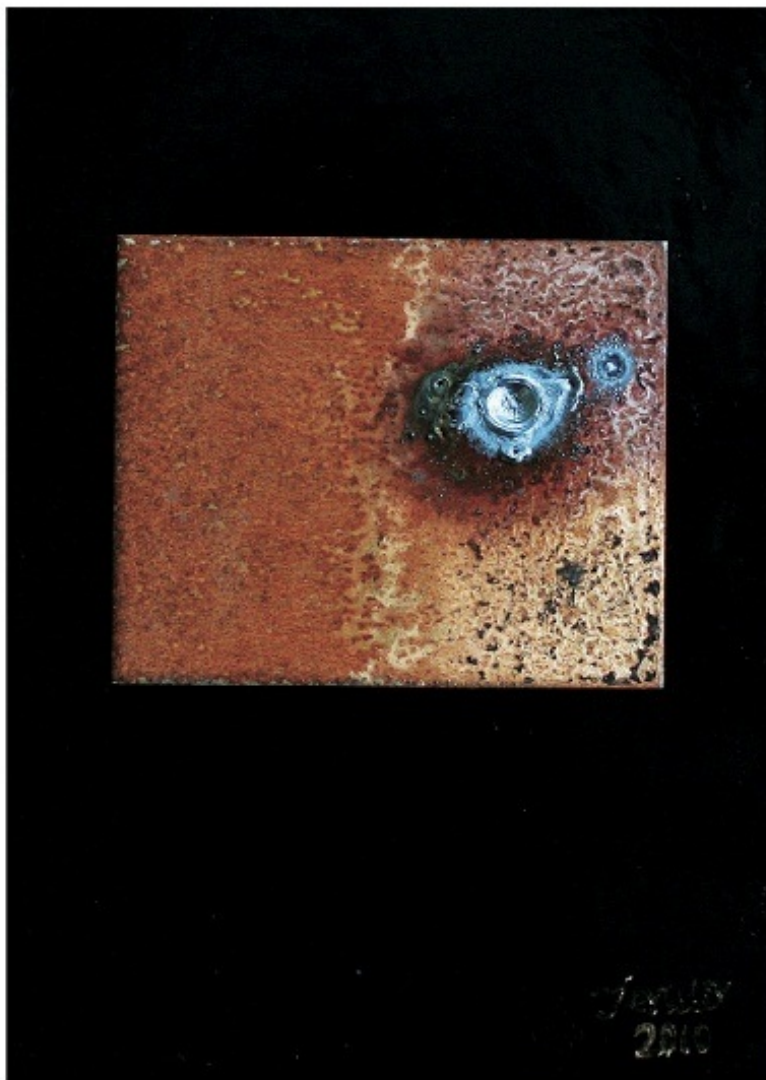
「oxyn」2009年 鉄 100×100mm  
鉄を雨に数ヶ月さらして錆びさせ、ドリルで穴をあけた。



高橋輝雄  
Takahashi Teruo

「心も記憶も酸化する」をコンセプトに、鉄を雨で錆びさせた立体や平面作品を制作。また、呼吸と咳によるドーイング、白と黒の絵画も手がける。東京、ロンドン、トロントにて展示活動中。  
<http://www.teruo-takahashi.jp>

# 鉄は、錆びる。



「Rust: 心も記憶も酸化する」2010年 鉄、工芸漆、ファイバーボード 100 x 150mm  
鉄を両面に数ヶ月さらして錆びさせ、溶接機で鉄の表面を溶けさせた。

鉄が錆びていくように、僕の心も記憶も酸化していく。そして最後には風化してなくなってしまう。

くように、僕の心も記憶も酸化していく。そして最後には風化してなくなってしまう」というコンセプトの表現に挑戦している。作品となった後も、鉄の表面は、ゆっくりと錆び続ける。錆びていくことはネガティブではなく、自然なことだと思おう。そう思うて制作している。

最近読んだ本に、僕の中でもやもやしていたことが巧くまとめられていた。そこには、「心や記憶が錆びて無くなる」ということは、それまで持っていた我意識、善悪の価値観、愛憎などが全て無くなってしまおうということ。それは、無の世界。そして、そこから新しい価値観が生まれる、そういうことが書いてあった。

僕の中でもやもやしていたこと。それは、僕がアーティストを始めた頃から持っている「無への道」というアーティスト・ステートメントと、「心も記憶も酸化する」というコンセプトの接点が漠然としていたこと。「無への道」とは、僕がもし、無の境地に達することができたら、その「無」までの道のりが、僕の作品をクロノジカルに追っていくことによつて解るかもしれない、そういう試みのステートメント。

そんなことを考えながら、鉄を切ったり、溶かしたり、穴をあけたり、両さらしにしたりして、僕は毎日過ごしている。

# 香港徒然日記

## 第一話 胸すっぱいの握手

はつめい Jockey Club Creative Arts Centre (以下 JCCAC) を訪れたとき、やっと見つけたと思った。香港や上海の現代美術がおもしろい。だれかからそう聞いていたけれど、新しいと思われる芸術をみられる場所に出会えずにいたのだ。

JCCACへ行ったのは去年の夏のこと。香港にもさをり織りをやっている作家さんや障がい者の施設があり、障がい者の芸術活動を支援する非営利団体が企画するさをり織りのイベントと研修会のお手伝いをするようになったのだ。そしてその非営利団体 CCCC の事務所がここにあった。

JCCACは香港政府民政事務局と香港ジョッキークラブによる集合アトリエビルで、若者のクリエイティブ育成のため、その活動の場をまず提供しようという、なんとも羨ましい空間なのだ。もともとは工場の集まっていた工業ビルらしく、中央に大きな吹き抜け



のある明るくモダンな建物だ。現在は学校やアトリエ、事務所、ギャラリー、カフェ、ショップとして利用され、さながらどこかの美大の学園祭といった感じだろうか。

わたしが行ったときは1階のギャラリーでリサイクルをテーマにしたデザインの展示が催されていた。著しい大気汚染や効かせすぎの冷房など、やや感覚を疑ってし



さをり織りは1968年大阪で、普通の主婦だった城みさをが57歳のときに始めた。「キズはデザイン」逆転の発想から生まれ、伝統的な決まりのないさをり織りには手本がない。常識や既成概念にとらわれず、心のままに、好きに織る。その人が先天的にも感性をも引き出せる「感力」の織りだ。性別も年齢も国籍も障害の有無も関係なく、だれもが楽しめるさをり織りには自由と無慮の表現がある。

写真中央：JCCACのカフェにて、香港のメディアからさをり織りの取材を受けるNPO法人「さをりひろば」城英二代表。  
写真左：JCCACのギャラリーにてリサイクルの展示。ハギレ、コード、針金ハンガーなど廃材を利用してリメイクされた家具。

# 酔り吐

酔生

一杯目 乾杯



エリトア創刊。まずは乾杯！

呼び方や掛け声は違えど世界中で行われている乾杯。由来を調べてみると……。

- ◎敵同士が、毒が入っていないことを確かめるために同じタイミングで飲み合った。
- ◎グラスを強くぶつけることで中身が相手のグラスに飛んで混ざり合うので毒を盛れない。といった説が、なんともキナ臭い。

◎グラスをぶつけ合う音で悪魔を追い払う。なんてオカルト的な理由もあったとか。

さて、お祝い事でよく見られるシャンパンの乾杯。ここでウンチクを一つ。

シャンパンとスパークリングワインの違い。「シャンパンはスパークリングワインだけど、スパークリングワインがシャンパンとは限らない」なにやら禅問答のよう。

まう面も多々ある香港で、エコに取り組む若者がいるというのも今の時代なのだろう。

そして忘れてならないのは、同じく1階にある中国茶のすてきなカフェ。ここにはCCCDが持ち込んださをりの織り機が置かれている。のんだら織らせてくれるかも！

そうそう、わたしはさをりのイベントで忘れられない女性と出会った。イベントはショッピングモールでの障がい者の方々によるさをりを織りのデモンストレーション。

さをりは自由に自己を織りで表現するもの。織る人たちみんながそれぞれにちがって、そしてそれに素晴らしい。

ショッピングモールに買い物にきている人たちにそれを見ていただき、興味があれば織つてもいただけ。彼女はデモンストレーションをするために会場に来てくれた障がい者の中の一人だった。

みんながどんなものを織るのか？ わたしがいちばん緊張する瞬間だ。そしてみんながそれぞれのペースで自分の織りを始めたのを見て、わたしは安心した。とりわけ彼女の、素材ひとつひとつを慈しむように、愛おしそうに織る様子に心が躍った。さまざまなか



と素材が入り交じるその美しさに魅了した！

「織る時になにかテーマがあるの？」との問いに「その時の自分の織りたいなと思う感覚を織つてます。」と丁寧に答えてくれた。

香港にもそうやって日々を織りで表現しているアーティストがいる。素直に「ますます自分探し、がんばろう」と思わせてくれる出会いだ。わたしは胸がいつぱいになって握手を求めた。

もりあきこ

「さをり織り」という現代手織りで自己表現のものづくりをする。2008年から日常の気づきを織る「日記織り」に取り組み。2009年、夫の香港勤務を機に日本と香港を行き来する生活がはじまる。  
http://akiko-mori-top.blogspot.com/



言い替えると「スパークリングワインの中の一つのジャンルがシャンパン」ということ。

炭酸ガスを含んだ発泡性のワインが、スパークリングワイン。フランスのシャンパーニュという地方で規則に基づいて作られたスパークリングワインが、シャンパン。

他には、イタリアのスパマンテ・スペインのカヴァなども有名だけど、それら全てがスパークリングワイン。

最後に「エリトリア」らしく、アートにまつわるカクテルを。

ジョヴァンニ・ベリーニの展覧会を記念して、開催地イタリアのバーで作られたカクテル。その名も「ベリーニ」。

#### 【レシピ】

◎スパマンテ・プロセッコ

(又は、辛口のスパークリングワイン)

◎白桃のビュール

◎グレナデンシロップ

旬の白桃を使うのが最高だけど、ネクタージュースや缶詰の白桃をミキサーにかけても。改めて、乾杯!!



#### 酔生 Sui Sei

酒飲んだり・料理したり・印鑑彫ったり酒飲んだりイラスト描いたり映画見たり・仕事したり・酒に飲まれたり・本を読んだり・モンスターをハントしたり・酒飲んだりしながら日々過ごしております。

川越

Kawagoe Croquis Assemble

参加者募集

# クロッキー

アサンブル

プロのモデルさんを前にみんなで楽しく  
絵を描きませんか？ 初心者の方も大歓迎です。

開催日 4月30日(土) 18:30~21:00  
5月15日(日) 9:40~12:10  
5月29日(日) 9:40~12:10  
6月26日(日) 18:30~21:00  
7月10日(日) 18:30~21:00  
7月24日(日) 9:40~12:00

参加費 お1人様 1回1500円  
定員 15名  
会場 多目的ホールクラッセ川越6階  
川越駅東口から徒歩3分



◎お申込み・ご予約／ご質問や資料請求はこちらまで  
[kawagoe\\_cro@mail.goo.ne.jp](mailto:kawagoe_cro@mail.goo.ne.jp)

ホームページ <https://sites.google.com/site/kawagocroquis/home>

## エリトア 第1号 2011春

2011年3月15日発行

発行人/三浦謙樹 編集人/木村和弘 編集/笠原美恵  
ロゴデザイン/高瀬きぼりお レイアウトデザイン/吉野章

◎エリトア連絡先

〒359-0042 埼玉県所沢市並木 8-7-1-1009

URL <https://sites.google.com/site/loop1616/home>

Email [erittoa@mail.goo.ne.jp](mailto:erittoa@mail.goo.ne.jp)

### 編集後記

エリトア第1号特集のりょうさんのしゃべりはとてもパワフルかつスピーディで心をとらえ、聞き入ってしまう。しかも多い(笑)。それを思い切り出来るのも大きな懐で包み込むけいこさんがいるから。今後エリトアでは、こんな作り手の素の部分を紹介していきたいと思う。末永くたくさんの方に愛される読み物になるように。エリトア創刊にあたりたくさんの方のご協力ありがとうございました。関係者を代表して心より感謝の意を申し上げます。  
2011年3月 木村和弘

エリトアでは宣伝・広告を募集しております。掲載をご希望の方は右記までお気軽にご相談ください。 [erittoa@mail.goo.ne.jp](mailto:erittoa@mail.goo.ne.jp)

掲載されている文章、写真、イラストなどの無断転載・複製(コピー)は禁じられています。